日本医療機能評価機構認定病院

美山だより

第 19 号
2012. 6

社団医療法人　啓愛会

美　山　病　院

〒023-0132　奥州市水沢区羽田町字水無沢495−2
TEL　0197−24−2141
FAX　0197−24−2144
ホームページ　http://www.keiaikai-miyama.jp/

病院長　及川司

新院長就任あいさつ

この４月から院長職を引き継ぐことになりました及川です。今ひしひしと、責任の重大さを実感しております。私達は「良き医療とやすらぎの環境」の理念のもと、患者様が本当に安心して治療・療養が受けられる病院を目指し努力をしてまいりました。

院内には急性期医療を担う一般病棟、病状がある程度落ち着いた患者様対象の障害者施設等病棟や療養病棟があります。更に胆江地区では初めてがんで苦しまれている患者様対象の**緩和ケア病棟を新設**致しました。

このことによって、患者様はそれぞれの病状に合った病棟に入院することができ、転院の心配もなく病状の変化に合わせ転棟も可能です。

更に当院には地域のニーズに合わせ老人保健施設ハイム・ベルクやデイケアセンター、訪問リハビリが併設されており、退院後も社会復帰に向けて無理のない移行が可能だと考えております。医療を取り巻く環境はますます厳しいものがありますが、今後は**「緩和ケアの心を全ての病棟に」**をモットーに患者様の身になって考え、コミュニケーションを大事にする病院作りに努めます。

少しでも地域に貢献できる病院、皆様に愛される病院となるように最善を尽くしたいと思います。どうぞ、宜しくお願いします。

—目　次—

１P・・・新院長の就任あいさつ
２P・・・緩和ケア病棟ボランティア募集の説明会開催
３P・・・がん緩和ケア市民公開講座の案内　ホームページの更新　緩和ケア病棟の周辺整備
４P・・・24 年度新職員紹介
５P・・・栄養サポートチーム体制について
６P・・・医療療養病棟への転換について　２３年の図書購入のお知らせ

≪緩和ケア病棟に何故ボランティアが必要なのか≫

千葉事務部長の
趣旨説明

及川院長より緩和ケアって
何なのか説明

菊池緩和ケア科長より
パワーポイントを用いて説明

佐藤師長の受入れ現状報告

『羽田公民館で説明会を開催』

平成24年３月22日（木）午後２：００から羽田公民館の２階をお借りして緩和ケアボランティアの必要性についての説明会を開催しました。お忙しいにも関わらず多くの羽田町民の方が参加してボランティアの必要性について真剣に聞いてくださいました。参加人数は35名ほどで緩和ケアの担当の先生方も凄く力を入れて話して下さって、会場が時には笑顔があふれ、特に及川先生は地元田茂山出身で幼少時代のころの思い出を交えて話してくれたので、参加者も親近感を覚えて聞いていたような気がします。講師は申し遅れましたが、及川先生と菊池先生のお二人にそれぞれの立場から話をしていただきました。緩和ケア病棟でボランティアを行うにはボランティア養成基礎講座を受講することになっていますが、本日の参加者は受講を修了されたとみなしますと宣言もあり、いつでも活動ができることになりました。県内では美山病院の緩和ケア病棟は５番目に設置され、まだまだ近隣に周知がされていない感があります。今後も近隣の地区センターに出向いて、緩和ケア病棟とはどんな病棟なのか。また、ボランティアがなぜ必要なのか等の説明や交流活動をさせていただけたらと思っております。

『緩和ケア病棟に何故ボランティアが必要なのか』

１番目に、ボランティアさんは緩和ケア専門職種チームの一員で、社会の風や香りを運びこむ役割を担っているということです。

２番目にボランティアさんがいることで、患者さんやご家族様が安心感を得られます。

３番目に療養環境が充実して生活感のある環境を提供できるということです。常に入院生活の中で季節を感じながら過ごせることは、病院スタッフだけでは叶えることができません。患者様とご家族様の素敵な思いで作りの一助にもなります。

ボランティアの意識は、「**してあげる**」から「**させてもらう**」「**してもらう**」から「**させてあげる**」の改革が必要であると関西大学の杉本教授が語っております。

羽田公民館で受講した皆さんが、６月からボランティア活動を始めて頂くことになりました。紙面を借りて感謝申し上げます。大変ありがとうございます。

【活動内容】

・お茶サービス
・生活サポート
・ガーデニング
・上映会のお手伝い・・・等

【活動時間は・・・】

・貴方の空いている時間を有効活用
具体的に面接でご相談に応じます

これ以外にも、患者さんとご家族のために活動したい内容がありましたら、お申し出ください。

がん緩和ケア市民公開講座

≪患者様に寄り添う支援≫

～いつでも、どこでも、誰にでも～

開催日　平成24年6月20日(水)　18:30～20:30　(18:00 開場)

会場／奥州市文化会館Ｚホール(中ホール)

プログラム

18：30　開会

18：30　1）講演　緩和ケア　―過去及び現在―

美山病院　院長　及川司

2）講演　チームで支える緩和ケア

①緩和ケアの取り組み　薬剤科長　菊地祐子

②緩和ケアと栄養科の関わり　栄養士　菊池美緒

③リハビリ職として関わり　副主任作業療法士　鈴木海

④相談員としての関わり　副主任 MSW　村上知大

⑤まとめとボランティアについて

緩和ケア科長　菊池俊弘

20：30　閉会

ボランティアの申込用紙がダウンロードできます。

美山病院　検索

カチッ

≪美山病院のホームページが更新≫

今年の４月からホームページを更新しました。

ぜひご覧ください。http://www.keiaikai-miyama.jp/

≪緩和ケア病棟の真下の周辺整備≫

パンジーを移植して、華やぐ緩和ケア病棟の周辺となりつつあります。

手前には桟橋を設置して、安全面を配慮しながら散策できるように計画中です。

２４年度　新職員紹介

所属　医局　医師
氏名　吉崎（よしざき）　陽（あきら）

はじめまして。ヨシザキアキラと申します。故あって啓愛会にお世話いただくことになりました。
よろしくお願いします。　最近、自分の生き方について少し知りたいことがあり、新たな勉強を始めました。

その中で、「諸行無常（しょぎょうむじょう）」・「諸法無我（しょほうむが）」・「涅槃寂静（ねはんじゃくじょう）」の三法印に促われています。「すべての現象は一定の法則に従わないこと」、「すべてのものの基本となる真実は存在しないこと」、「欲望による渇愛（煩悩）が消えた悟りは静かで平穏であること」。その言うところは、すべて「無」・「空」である。　これを知って、今までいろいろなことに執着してきた自分の人生を、改めて見直すきっかけとなりました。とは言っても、私は凡夫です。邪念と欲望、煩悩の中にすっかり浸かっている自分を自覚し、これを享受しています。この生活を変える由もなく、自己矛盾の中で生きていくのが、人間らしいかな、と考えています。　よろしくお願いします。

所属　3西病棟　准看護師
氏名　田頭　礼子
≪抱負≫
安全に安楽に患者様に援助ができるように、頑張りたいです。

所属　2西病棟　看護師
氏名　千葉　春奈
≪抱負≫
患者様やスタッフの方々のお力になれるよう、頑張ります！

所属　2東病棟　看護師
氏名　菊池　真理
≪抱負≫
日常の勤務になれ、ひとつひとつ丁寧に仕事ができるよう頑張ります。

所属　3東病棟　看護師
氏名　廣野　彩
≪抱負≫
早く仕事を覚えて頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

所属　1病棟　看護師
氏名　佐藤　友
≪抱負≫
何事も一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。

所属　3西病棟　看護師
氏名　千葉　周子
≪抱負≫
約 10 年間ブランクがあり復帰しました。早く慣れるよう、頑張ります。

所属　2西病棟　介護福祉士
氏名　後藤　千春
≪抱負≫
患者様の笑顔が見られるよう、日々の業務を確実に行いたいです。

所属　3西病棟　介護福祉士
氏名　松本　摩耶
≪抱負≫
患者様の心に寄り添える介護を目指して頑張りたいです。

所属　リハビリテーション科
作業療法士
氏名　吉田　直矢
《抱負》
常に向上心をもち、成長できるよう一生懸命頑張ります。

所属　リハビリテーション科
理学療法士
氏名　鈴木　隆
《抱負》
学ぶこと、考えることを心がけるよう日々努力していきます。

所属　リハビリテーション科
作業療法士
氏名　小平　知朋
《抱負》
笑顔と学ぶ姿勢を忘れず、一生懸命頑張ります。

人の良さや深みとは、しっかり根を張ることによって発揮されると思います。大きく太い根を張って、頑張って頂きたいと思います。

＜千葉事務部長＞

～口腔ケア～　　口から始まるクオリティ・オブ・ライフ

管理栄養士　及川るみ子

ＮＳＴ勉強会に於いて

以前から当院では全科型NST委員会（栄養サポートチーム）を立ち上げ、経口摂取に向けて取り組みを行ってきた。そんな時に奥州保健所、互野氏（管理栄養士）より、奥州歯科医師会と共にNST活動を行っていく事は出来ないだろうかと相談があった。

県立胆沢病院でNST受講した時、既に衣川診療所歯科医師、佐々木勝忠先生が胆沢病院NST活動に参加していたのであるが、それを奥州市保健所でも取り組んで行きたいということであった。そして、平成２４年３月２３日奥州保健所の後押しを受け、まごころ病院歯科医師、清水潤先生を迎え、「高齢者の口腔ケアについて」と題した勉強会を開催することが出来た。

口腔ケア指導の様子

清水潤先生、歯科衛生士

口腔ケアの指導

講演の後、患者の口腔ケア回診をして頂き、知識と技術について丁寧な指導を受け、NST活動に歯科医師参加の期待が高まった。多くの入院患者で様々な原因のために口腔の合併症（咀嚼障害・嚥下障害・口内炎・口腔乾燥など）を有しているため口腔機能が低下していることが多い、と言われている。口腔機能が低下すると誤嚥性肺炎や低栄養になり、様々な全身的合併症が出現する。したがって、口腔機能の向上・維持が入院患者にとって有用であることは疑いの無いところである。平成２４年度は地域歯科医師会が当院NST活動と連携し、口腔機能向上に繋げるようシステムが、動き出すような展開をしていきたい。尚、今回の事業に関して森山専務理事の力添えと千葉事務部長のバックアップがあったからこそ推進に弾みがついた。現在、口腔ケアや栄養リハビリの分野から作業療法士・理学療法士・言語聴覚士との関わりが以前に比べて重要性が増してきている。

看護師は口腔ケアを業務の中で行ってくれているが、専門職が参加することで口腔機能向上が患者サポートに更に活かされると考える。栄養の入り口である口腔機能を整え、ＮＳＴというキーワードで連携し、口から食べる行為に喜びを実感できるように援助していきたい。

※ＮＳＴとは栄養サポートチームとも言います。様々な医療スタッフ（医師・薬剤師・管理栄養士・看護師等）がチームを組み、患者さんに最もふさわしい方法で栄養状態を良好に保つことを目的とするチームのことです。栄養状態が悪いと、どれだけ治療してもなかなか回復できませんし、また手術後に感染症や合併症を起こしてしまうこともあります。このような問題を解決するための栄養支援チームがNSTです。

医療療養病床への病棟転換のお知らせ

さて、美山病院では現在稼働している介護療養病床を平成２４年７月１日より医療療養病床に転換する事に致しました。医療療養病床は、急性期治療が終了した後も引き続き医療および療養が必要な患者様の病床であり、治療や処置が少なく主に生活リハビリテーションや栄養指導など家庭復帰までの長期入院が必要な患者様の医療保険適応の病床となります。転換後も引き続き療養が必要な患者様は入院する事が出来ます。

転換の理由としては、国は当初平成 24 年３月末をもって介護療養病床を廃止して転換をするようにと方針を示しておりました。

当院も患者様や家族様に支障が出ないように検討を重ねて参りましたが、国は今頃になって６年間延期してもかまわないとのことですが、この先の保障は分かりませんので、当院としては当初通りで示された時期を考慮して、転換する事に致しました。

本件に関してご質問やご不明な点がありましたら、下記担当者までお尋ねを頂きたいと思います。

《担当者　主治医・菊池病棟師長・村上医療ソーシャルワーカー》

≪２３年の購入図書のお知らせ≫

No.	書籍名	著者名	出版社
1	脳疾患によるアパシー（意欲障害）の臨床	小林祥泰	新興医学出版社
2	『しつこい怒り』が消えてなくなる	石原加受子	すばる舎
3	基礎から学ぶ口腔ケア	菊谷武	学研メディカル秀潤社
4	『口腔ケア』～知っておきたい口腔ケアの基本～〈ＤＶＤ〉		介護労働センター
5	仕事しての老人ケアの気合	高口光子	雲母書房
6	臨床の詩学	春日武彦	医学書院
7	リハビリテーションという幻想	高口光子	雲母書房
8	認知症論集	三好春樹	雲母書房
9	寝たきりにさせないリハビリ介護	玉垣均	ブリコラージュ
10	生活リハビリ術　ー介護が楽しく楽になるー	松本健史	ブリコラージュ
11	手にとるようにＮＬＰがわかる本	加藤聖龍	かんき出版
12	脳卒中の集団リハビリテーション訓練の 13 原則	太田仁史	三輪書店
13	ライフレッスン	エリザベス・キューブラ・ロス	角川文庫
14	看護倫理～日本文化に根差した看護倫理とは（ＤＶＤ）	アン・Ｊ・デービス	医学映像教育センター
15	看護業務基準集		日本看護協会